

かさま No.55 社協だより



編集・発行 2024.12.19

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp

笠間市社協



サロンひより (旭台地区)

撮影 畠山

も く じ

- 1 サロンひより・サロン交流会を開催しました 2
- 2 『社協』を知っていますか? その14 3
- 3 生活支援体制整備事業 活動報告 (大池田の会、友びきの会) 4
- 4 いきいき通所かさま eスポーツ体験会を開催しました!・下安居地区組対抗輪投げ大会 ... 5
- 5 ボランティアセンターだより 6~7
- 6 ちいすけイバラキ (笠間市) 介護助手養成講座の参加者募集・協力会員募集・ちょっといい話 ... 8
- 7 善意銀行・赤い羽根共同募金 街頭募金報告 9
- 8 インフォメーション・心配ごと相談所日程表・編集後記 10



この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金を受けています。

サロン『ひより』は、令和6年4月にスタートしたばかりです。みんなで話し合い、「今日はいいお日和(ひより)ですネ」という挨拶から『ひより』と決まりました。月1回の活動です。現在の会員は17人です。勤めている人、ボランティア活動をしている人と多様なため、活動日はできるだけ参加者が多い曜日にと考えています。



会場は、旭台公民館です。公民館は、ほぼ地域の中央にあるため、ほとんどの人がウォーキングで集合します。まずは「歩いて健康」です。

参加者は近くの間、指導士の方も同じ地区の方か、身近な方です。リハビリ体操の指導士は地区の方が中心、歌声喫茶の演奏は地区の方がメインバー。お互いに顔見知りなので、質問や相談もできます。また、ポッチャでは、自分たちでも審判・運営ができるように、社協主催「サロン運営者研修会」に参加しました。「交流タイム」では、身近な出来事などを話題として、和気あいあい。健康、食事、園芸など、楽しく話し合える時間となるよう心がけています。



これからの、地域で元気に暮らすために、「交流の輪」が広がればいいなあと思います。(連絡係・寺門)

サロン交流会を開催しました

まだまだ暑さの残る9月6日(金)、ふれあいサロンの運営者が集まり、友部公民館体育館で交流会を開催しました。参加者は41人です。

この日は30度を超える気温、社協で取り組む「熱中症対策普及事業」として、熱中症対策のチラシと冷却剤を配布、定期的な水分補給の時間を設けながら実施しました。

今回の交流会は、話題の「ポッチャ」をサロンでも取り入れてもらおうと企画し、ポッチャの審判講習を行いました。講師は、茨城県ポッチャ協



ポッチャの審判講習会



熱中症対策のチラシを配布

会の横山猛さん、石川淳史さん、小泉好治さんの3人です。

はじめにDVDを見ながら全体の流れを学び、その後3つのチームに分かれて実践です。中にはポッチャを初めてやる方も。順番に審判を経験し「楽しかった」「今後サロンでの活動に取り入れたい」という声も多く聞かれました。その後はポッチャのチームで昼食会。ポリウム満点、4種類のミステリー弁当は開けてのお楽しみ！昼食後はグループでの情報交換を行いました。日ごろの悩みを共有した

り、他のサロンの活動内容を参考にしたり、この場がひとつのサロンのようなひと時でした。時間が足りない！という声も聞こえる中、閉会となりました。



グループでの情報交換

「ふれあいサロンとは？」ふれあいサロンは、身近な地域で気軽に楽しく集まれる場所です。参加者同士の交流や介護予防、閉じこもりの防止などを目的としています。サロンに行ってみてください。サロンをやってみようという方は、社協までお問い合わせください！

『社協』を知っていますか？ ～社会福祉士養成 ソーシャルワーク実習～

その14



未来を照らす“ふくし人”を育成します!!



常磐大学
大島 風夏

実習での学びを 将来に

今回、笠間市社会福祉協議会で23日間の実習を行わせていただきました。

実習では、社協で行われている様々な事業に実際に入らせていただくことで、

地域における社会福祉協議会の役割、人のつながり支え合いの大切さを学ぶことができました。

お忙しい中ご指導いただいた社協の皆様、実習期間中お世話になりました地域住民の皆様本当にありがとうございました。今回の実習で得た学びを大学での学習に活かし、社会福祉士の資格取得に向けて頑張っていきたいと思っております。



茨城キリスト教大学
鈴木 梨菜

学びを活かして 成長に

24日間の実習でお世話になりました。実習では、社会福祉協議会のさまざまな事業を体験させていただきました。

配食サービスなどのボランティア活動や在宅福祉サービス事業などを通して、ボランティアの方々の多くの活躍を知ることができました。そのため、「夏休みわくわく体験教室」などの子どもたちに福祉やボランティアを知ってもらうための福祉教育の推進が重要であると学びました。

他にも実習でさまざまなことを学ばせていただきました。これらの学びを今後のソーシャルワークの理解を深めるために活かせるよう、頑張りたいと思っております。



実習担当
生駒 大輔

実習担当
柴沼 真一

未来のソーシャルワーカーを育成します

笠間市社協では、社会福祉士資格取得に必要な「ソーシャルワーク実習」を県内・外の大学等と連携を図りながら平成24年より実習生の受入を行っており、令和6年12月現在で29人の学生を受入れました。

実習には、大学に進学し国家資格取得を目標としている学生、普段は一般企業等で働きながら通信制学校に入学し、自身のスキルアップのために国家資格取得を目指す社会人学生など、様々な実習生がいます。

実習生の受入は社協の役割である地域の福祉増進とマンパワーの拡大の一つの手段と言えます。社協の各種事業を通じて高齢者や障がい者、地域で活動する

ボランティアさんなど、多くの関係者と接し、コミュニケーションを図り、日常生活とは違った角度から地域（笠間市）を知り、専門職としての役割と魅力を感じていただき、『将来、笠間市の福祉に関わりたい』と思ってもらえるように、実習生一人ひとりのプログラムを考えています。

大池田の会

旧東中学校運動会に参加して

晴天の10月14日、旧東中学校運動会（主催アドバンフォース）が開催され、大橋・池野辺・高田支部の合同チームが飲食ブースに出店し、かき氷・綿あめ・ポップコーンを作って来場者に無料で配りました。一同、初めての経験でしたが、ふんわりの綿あめ、ほんのりバター風味のポップコーンやかき氷も出来ばえは上々で、予定した各100食はお昼頃までになくなったほどの人気でした。

「ありがとう」と嬉しそうに受け取る子ども達の笑顔に私達の顔もほころびました。

会場は家族連れや若者、高齢者などで賑わい、球団（茨城アストロプラネッツ）の野球選手と玉入れや大縄跳びに興じる光景を見て、かつて地域のみんが参加し盛り上げた閉校前の運動会を懐かしく思い出しました。今回の活動は、地域の話し合いの場「大池田の会」で提案され、事務局の支援があり実現しました。3支部が協力して実施したことで、支部の一体感も生まれ、メンバー間の距離も縮まったと感じます。この体験を次の活動につなげたいと思います。（森）



綿あめ、ポップコーン



これも無料のかき氷

友びきの会

箱田名所めぐりハイキング



達磨大師（鳳台院）



会話が弾みました

11月9日（土）、素晴らしい秋空の下、片庭川の風と光を感じながら、29人の参加者にて、地元の名所を巡るハイキングを行いました。

当会では、地域の課題や、あるべき姿などについて話し合いを進め、今回、地域の方々のコミュニケーションを高めようとのことから、ハイキングを企画しました。

当日は、日本画家木村武山が生家邸内に建立した「大日堂」、真言宗系山伏修験者が祈祷を行った「滝野不動堂」、日本一と言われる達磨大師が安置されている「鳳台院」の三カ所を巡りました。

普段地元で暮らしていても、なかなか見る機会が少ない名所を見て回り、「初めて見た。すばらしい絵画ですね」、「由緒のあるお不動さんだったんですね」など驚きの声がかれました。

また、道中では初めての方とも会話を弾ませながら、心地よいひと汗をかけた一日でした。

生活支援体制整備事業 ってなあに？



生活支援体制整備事業は、自分たちの住み慣れた地域でいつまでもいきいきと暮らしていくために、地域のつながりづくりや支えあう仕組みづくりをする事業です。

社協では、地域の皆さまと一緒に「地域について話し合う場」を設け、情報共有やあったらいいねのアイデアを定期的に話し合っています。話し合い↓やってみる↓振り返りを繰り返しながら、支えあいの仕組みづくりを進めています。地域づくりはどなたでも参加できます。ご興味のある方は社協までぜひご連絡ください！



eスポーツ体験会を開催しました!

10月4日(金) 地域交流センターみなみ 参加者18人



最初に、茨城県社会福祉協議会わくわく事業推進部の篠原さんから『eスポーツ』についての説明がありました。

Electronic Sports (エレクトロニック・スポーツ) が正式名称で、電子機器(ゲーム)を使って対戦する競技(スポーツ)だそうです。eスポーツは交流しながら楽しむスポーツで、福祉ととても相性が良いとのことでした。

シルバリーハビリ体操で準備体操をしたのち、3種目のゲームを体験しました。

「太鼓の達人」を中根さん、「ぶよぶよ」を佐藤さん、「グランツーリスモ」を篠原さんが、それぞれのブースでデモンストレーション。3種目とも2人の参加者を選び、ゲームを通して競技の方法や勝敗の決め方など詳しく説明されました。いよいよ体験開始。初めて取り組んだゲームなのに勝敗が付き、最初は遠慮がちだった参加者も慣れてきたのか、積極的にほかの種目にも挑戦していました。

eスポーツを体験して「とても楽しかった」「頭の体操になる」「他県の方とも交流してみたい」「今後も体験したい」など、高齢者にも広がっていく人気がスポーツになる予感がしました。



(高野)

下安居地区社協主催 相対抗輪投げ大会

令和6年10月27日岩間第二小学校体育館にて、輪投げ大会を開催しました。

下安居地区では、地区の親睦を目的に毎年バレーボール大会を開催していましたが、令和2年にコロナ感染者が出てから今日まで感染予防のため延期して参りました。

この度コロナに対するマスク着用が個人判断になるなど緩和され、個人の感染予防対策意識も定着していることから、子供から大人まで参加できる輪投げを選択し開催することにしました。

輪投げの形式は、8組によるリーグ戦で、チーム・個人



賞を設け優勝にむけ白熱した戦いの中にも、笑いのある和やかな大会になりました。

開催に当たっては、寿会会長高瀬さんにルールや採点の指導をいただきました。

また、笠間市社会福祉協議会職員の方よりポッチャ競技の細かな説明、用具のレンタル・準備などご支援いただき有り難うございました。

(下安居体育部 久保田登喜男)

センターだより

く り を 目 指 し て

「第一火曜日の会」では、ボランティアの協力のもと「写真フレーム作り」を行いました。オリジナルのかわいい作品の出来栄えに参加者も満足そうでした。

「先生方の研修会」では、点字・手話の体験を行いました。福祉教育や普段の暮らしに役立つと喜ばれました。

「大人の福祉体験教室」では、視覚障害者や盲導犬も参加しての実践教室でした。

「コーヒー」「親子ヨガ」の「笑育講座」は、笑顔が絶えないアットホームな雰囲気でした。

「福祉バザー」が友部・笠間・岩間各支所で開催され、大盛況のうちに終わりました。

ボランティアの方に協力していただき写真フレーム作りをしました。

厚紙と布地などを利用してオリジナルのかわいい作品が出来ました。一セットの予定が皆さん手際がよかったので全員二セットを完成させることができました。

参加された方は、楽しい時間を過ごすことができ、満足感いっぱいの子でした。



10/1

写真フレーム作り
地域福祉センターともへ
(14人参加)

「第二火曜日の会」



赤い羽根共同募金

11/15

交流できてよかったね
ふれあい電話交流会

地域福祉センターともへにて「ふれあい電話交流会」が28人が参加して行われました。これはひとり暮らし高齢者と、ふれあいを目的に電話訪問活動をしているボランティアサークルとの交流会です。

おしゃべりに花が咲き、歌を歌い、みんなで食事をし、ビンゴゲームなどなど、あつという間に終了時間に。またの再会を約束し、ホットな一日が終わりました。(小菅栄子)



赤い羽根共同募金

10/8

大人の福祉体験教室

15人参加

大人の福祉体験は、市内小中学校等で実施される車いす、アイマスク、高齢者疑似体験の指導、協力者を養成することを目的とします。アイマスクは、茨城ウインドランナーズ代表の近藤さんと視覚障害者の浅見さんから指導してもらいました。また盲導犬も同伴され、その仕事ぶりも披露してくれました。



赤い羽根共同募金

8/27

市内小中高校・幼稚園・こども園・保育所
先生方の研修会
地域福祉センターともへ

先生方を対象に、ボランティアの協力のもと、点字・手話の福祉体験教室を21人が参加していました。学校では児童・生徒が体験しますが、先生方にも共通認識を図るためです。実際に体験し「児童・生徒に教えるのにとっても役に立ちます」と大好評でした。

学校での福祉教育や、普段の暮らしに役立っていたきたいと思います。



派遣依頼を受けバザー夢工場の3人が小規模多機能型施設「ゆりのき」を訪問しました。

手作り品ネコのキット10セットを準備したところ、利用者さんがちょうど10人。ネコの輪かくをなみ縫いするだけですが、皆さん上手に出来ました。綿を入れ、目とりボン、ひげが付くと、「かわいい」との声。楽しんでくれたようです。



9/20

バザー夢工房
「ゆりのき」を訪問



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。



にぎわうバザー (友部公民館)

ボランティア

住みよいまちづくり

令和6年度 ボランティア連絡協議会

福祉バザー

- 友部支部**
10月20日 友部公民館
『ふるさとまつりinかさま』
- 笠間支部**
11月2日 社協笠間支所(石井717)
- 岩間支部**
11月9日 社協岩間支所(下郷5139-1)

皆様のご協力に感謝!!

福祉バザー売上

- 友部支部 289,516円
- 笠間支部 72,329円
- 岩間支部 193,260円

※売上は、地域福祉活動に活用させていただきます。



天気もよくスタート(岩間支所)



雨のため急遽室内で(笠間支所)

わらいく たのしく笑育講座

笑育(わらいく)講座とは!

子育て中の皆さんが地域の方々と関わることで、地域のあたたかさや福祉の担い手を育成することを目的としています。

子育て中の方のコミュニティの輪を広げます。

9/9 コーヒー講座 4人参加

おいしいコーヒーの淹れ方を学びました。

場所

地域福祉センター
ともべ

講師

八雲珈琲
菅谷 豊 さん



11/8 親子ヨガ 11人参加

親子でスキンシップを楽しみました。

場所

地域福祉センター
ともべ

講師

ヨガインストラクター
子安 美穂 さん



男性も頑張っています

10/23
6人参加

10/30
5人参加

食事づくり
体験講座

赤い羽根
共同募金



10/24

11/14

11/28

3人参加

大人の点字
体験講座

赤い羽根
共同募金

ちいすけイバラキ 介護助手養成講座の 参加者募集

「ちいすけイバラキ」は、茨城県社会福祉協議会とNPO法人ちいすけの学校が協働し、「ちいすけ（介護助手）」を普及させる取り組みです。地域の多様な働き方を創出し、介護人材の確保と茨城（ちいすけ）を元気にしていきます。

介護予防や介護保険制度などを学び、ちいすけとして介護現場をサポートしてみませんか。



介護助手 養成講座



お申し込みはこちら

- 日時** 令和7年1月17日(金)
10:00~16:00 (受付9:50~)
- 場所** 笠間市地域交流センターともべ「Tomoa」会議室
(笠間市友部駅前1番10号)
- 参加費** 無料(昼食と飲み物はご持参ください)
- 対象** 笠間市内にお住まいの方、または通勤・通学されている方で福祉の仕事に興味のある方など
- 申込** 茨城県社会福祉協議会(茨城県福祉人材センター)
- 電話** 029-244-4544 または QRコードから

仲間に入りませんか! 協力会員 募集

在宅福祉サービスセンター 0296(78)3939



交流を深めた研修会

この事業は「困った時はお互いさま」の精神で、地域に住む人が安心して暮らせるように、家事や育児・病院への送迎や付添いなど必要に応じた適切な支援をする有償サービスです。(1時間700円)。
現在74人の会員が、家事支援・移送・子育ての活動をしています。ぜひ仲間に入って一緒に活動してみませんか。(関)

利用会員の声

介護認定を受けて4年、ケアマネジャーの紹介でサービスを知り利用することに。現在は、月2回の通院と、週1回のお掃除で利用しています。交代で2人の方が来てくれていますが、隅々までお掃除してくださり大変助かっています。ありがとうございます。

主人と二人だけの生活で不安も多くあり、色々な面で助けていただき感謝しています。(T)

協力会員の声

市の広報紙に「会員募集」の案内を見て、研修に参加し平成23年に入会して早13年。今は、笠間地区を中心に、食事づくりや掃除、ゴミ出しなどの活動をしています。また、利用者さんの洗濯物をコインランドリーへ行って、畳んで届ける活動も。忙しい日々ですが、喜んだ顔を見るとほっとします。

笠間地区では協力会員の数が少ないので、活動できる方をお待ちしています。(A)



ちよっといい話

2000年に介護保険制度が始まって以降、サービスを供給する事業者の倒産件数が、ことし過去最多を更新したそうです。

主たる理由は、人手不足が原因です。福祉職は使命感溢れる仕事ですが、重責な割に他と比べて賃金が低く、人材が集まらず流出しています。

一方で、財政の3割強が社会保障費です。医療・介護費の自己負担や保険料を上げても、そもそも人手が集まらなくては、持続可能ではありません。

もはや制度にばかり頼ってられないのではないのでしょうか。「困った時はお互いさま」精神で、社協の在宅福祉サービス協力会員やボランティアに登録したり、ちいすけイバラキで学んだり、ふれあいサロンで交流したり、地域を元気にしつつ生き生きと暮らすことが、何より重要だと思います。(入江)



善意の寄附を「ありがとう!!!」

(善意銀行預託)



令和6年7月1日～令和6年10月31日まで (順不同・敬称略)

物 品

エコキャップ・使用済み切手・食品・日用品など
井坂美智子
岡本秀嗣
川松美砂子
郡司真理子
酒井謙治
佐藤剛
武田佳子
富田桂子
額田義文
ありんこ
不動院
旭化成メタルズ(株)
(有)アサヒハウジング
石井自動車トラック(株)
イチカワユニオン岩間支部
(有)伊藤石材工業
いばらき広域農業共済組合笠間支所
いばらきコープ生活協同組合
入やなわあ工房
岡本興業(株)
(有)笠間給食センター従業員一同
(株)笠間ソフトメン橋本屋
(株)三栄製作所
鴻池運輸(株)
佐久間重機興業
JA常陸笠間地区女性部
昭和造園土木(株)
正和通信(株)

関デンキサービス(株)
泰榮電器(株)
(株)ダイナム
(有)鍋屋本店
真知美容室
松島製菓
森田屋入江勇太
県立笠間高等学校・JRC部
友部第二中学校ボランティア委員会
稲田小学校
岩間第一小学校
北川根小学校
稲田小児童クラブ
岩間第一小児童クラブ
旭化小児童クラブ(ポプラクラブの会)
みなみ学園児童クラブ
岩間保育園
大沢保育園
くるす保育所
みか保育園
おしのべこども園
すみれこども園
大成学園いなだこども園
大成学園かさまこども園
大成学園ともべ保育園
こじか幼稚園
さくら幼稚園
ともべ幼稚園
ドレミ幼稚園
笠間工芸の丘
更生保護女性会岩間支部

更生保護女性会友部支部
生長の家教化部
退職公務員連盟笠西支部笠間分会
退職公務員連盟笠西支部友部分会
退職公務員連盟笠西支部岩間分会
東京大学附属牧場
土師地区社会福祉協議会
日吉町区
オリーブ友部館
グループホームあさがお
グループホーム花木
県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)
小規模多機能型居宅介護事業所ゆりのき
(福)木犀会さくら
(福)木犀会ひまわり館
岩間郵便局
匿名(4件)

金 銭

| | |
|----------------------|---------|
| 宇都野澄子 | 8,609円 |
| 大山寿志 | 160円 |
| バザー夢工房 | 50,000円 |
| 友援の会 | 10,000円 |
| (有)笠間給食センター 従業員一同 | 6,167円 |
| (有)飯田自動車 | 16,160円 |
| 日本入歯リサイクル協会 | 2,738円 |
| 匿名(1件) | 2,135円 |

たくさんのご協力ありがとうございました！



赤い羽根共同募金 街頭募金報告



赤い羽根共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ。」をスローガンとし、みんなで助け合い支え合う地域づくりを応援する募金です。皆様よりご協力いただいた募金は『笠間市の福祉』に役立てられます。



10/1 笠間駅・友部駅・岩間駅

14,811円

【募金活動にご協力いただいた皆様】
山口市長・笠間市役所職員・
民生委員児童委員・社協理事

10/12 笠間ショッピングセンター ポレポレシティ

8,232円

【募金活動にご協力いただいた皆様】
笠間市地域女性団体連絡会・笠間高校
日本ウェルネス高校

10/12 道の駅かさま

7,846円

【募金活動にご協力いただいた皆様】
笠間市更生保護女性会
IT未来高校

インフォメーション *information*

第10回 笠間市社会福祉大会を開催します

福祉関係者が一堂に会し、住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるまちづくりを更に推進するとともに、多年にわたり社会福祉の振興に貢献された個人・団体の方々を顕彰し、感謝の意を表すために開催します。ぜひご参加ください。

日時

令和7年3月1日(土)
12:30開場 13:30開会

場所

笠間市笠間公民館 大ホール
(笠間市石井2068-1)

内容

式典(顕彰)と講演会

演題「まさか母が認知症?!

最後の時まで紡いだ母と娘の幸せな時間」

講師 菊田 あや子 氏(タレント・リポーター)



当日、フードドライブを実施します!
ご家庭に次のような食品が余分にありましたら、お持ちください。必要とする福祉団体や施設へ寄付する活動(フードバンク)に役立てます。

- *常温保存できる食品(生鮮はNG)
- *未開封で賞味期限を2か月以上残している食品

- お米、乾麺類 ●缶詰、瓶詰食品
- インスタント・レトルト食品、ふりかけなど



赤い羽根
共同募金

遺児養育手当のご案内

対象者

市内に住所を有しかつ居住する、父母または父か母と死別した義務教育修了前の児童・生徒を家庭において養育している方。

持参するもの

- ①遺児の戸籍謄本(初年度のみ)
- ②養育者の世帯全員の住民票
- ③振込先がわかるもの
- ④印鑑

※昨年度申請された方には、郵送でお知らせします。

- 支給額: 遺児1人につき 月額2,000円
- 締切: 令和7年2月28日(金)
- 申込先: 笠間市社会福祉協議会



赤い羽根
共同募金

新入学祝金のご案内

対象者

新年度に新入学(小学1年・中学1年)を迎える児童・生徒のうち、次に該当する方。

- ①ひとり親家庭
- ②祖父母家庭
- ③両親のどちらかに障がいがある家庭
身体障害者手帳1級、2級
精神障害者保健福祉手帳1級、2級
療育手帳A、A

- 支給額: 1人につき 5,000円
- 締切: 令和7年2月28日(金)
- 申込先: 笠間市社会福祉協議会
または笠間市役所 子ども福祉課



心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でもご相談ください(無料・秘密保持)
時間: 13:00~16:00 (受付は15:30までをお願いします)

| 場所 | 社協笠間支所 [第2・4火曜日] | 地域福祉センターともべ [第2・4水曜日] | 地域福祉センターいわま [第1・3木曜日] |
|------------------|---------------------|--------------------------|--------------------------|
| TEL 0296-73-0084 | TEL 0296-77-0730 | TEL 0299-45-7889 | |
| 1月 | 14日・28日 | 8日・22日 | 16日 |
| 2月 | 25日 | 12日・26日 | 6日・20日 |
| 3月 | 11日・25日 | 12日・26日 | 6日 |
| 4月 | 8日・22日 | 9日・23日 | 3日・17日 |

※その他、法律相談もあります。事前に心配ごと相談へご相談ください。

編集後記

今回の「社協だより」では、地域でのふれあい活動や福祉サービスなどの情報をお届けしました。特に最近では、各地域で開かれている「ふれあいサロン」に関する記事が、多く見られるようになりました。ふだんはなかなか顔を合わせる機会のない人たちも、「ふれあいサロン」では他の人たちと一緒にあって、共に楽しい時間を過ごしているようです。このような光景は、地域の力や人とのつながりがいかに大切かを改めて教えてくれます。今後さらに、地域住民同士の支え合いによって、だれもが笑顔になれる地域づくりが進むことを期待します。

(藤枝)



SNSのご紹介



(旧ツイッター)



赤い羽根
共同募金

このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。